

PROGRAM SELECTION DEVICE

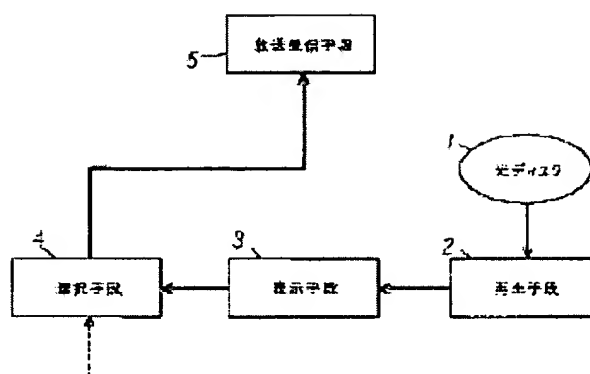
Patent number: JP5183826
Publication date: 1993-07-23
Inventor: SOMA YOKO
Applicant: MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD
Classification:
- international: H04N5/44; G11B27/34; G11B31/00; H04N5/445
- european:
Application number: JP19910346125 19911227
Priority number(s):

Report a data error here

Abstract of JP5183826

PURPOSE: To permit manpower saving for a program selection, to simplify an operation and to promptly obtain a desired program.

CONSTITUTION: An optical disk 1 recording program broadcasting information and a reproduction means 2 read the program broadcasting information from the optical disk 1. A display means 3 displays output information from the reproduction means 2. A selection means 4 selects a desired program from the program information displayed by the display means 3. A broadcasting reception means 5 receives the program broadcasting selected by the selection means 4.



Data supplied from the esp@cenet database - Patent Abstracts of Japan

(19)日本国特許庁(J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-183826

(43)公開日 平成5年(1993)7月23日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 5/44	D	7337-5C		
G 1 1 B 27/34	S	8224-5D		
31/00	M	8322-5D		
H 0 4 N 5/445	Z	7337-5C		

審査請求 未請求 請求項の数6(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-346125

(22)出願日 平成3年(1991)12月27日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 相馬 洋子

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

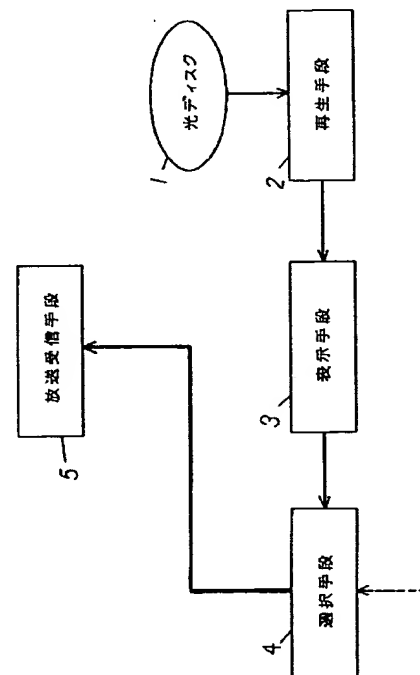
(74)代理人 弁理士 小鍛治 明 (外2名)

(54)【発明の名称】 番組選択装置

(57)【要約】

【目的】 番組選択の省力化を図り操作を簡略化するとともに、希望に応じた番組を迅速に提供する。

【構成】 番組放送情報を記録した光ディスク1と、再生手段2は光ディスク1から前記番組放送情報を読み出す。表示手段3は再生手段2からの出力情報を表示する。選択手段4は表示手段3で表示した番組情報から所望する番組を選択する。そして、放送受信手段5は選択手段4で選択した番組放送を受信する。



【特許請求の範囲】

【請求項１】 番組放送情報を記録した光ディスクと、前記光ディスクから前記番組放送情報を読み出す再生手段と、前記再生手段からの出力情報を表示する表示手段と、前記表示手段で表示した番組情報から所望する番組を選択する選択手段と、前記選択手段で選択した番組放送を受信する放送受信手段と、で構成されることを特徴とする番組選択装置。

【請求項２】 再生手段は、番組放送情報を記憶する記憶メモリを具備することを特徴とする請求項１に記載の番組選択装置。

【請求項３】 表示手段は、受信中の番組名を表示することを特徴とする請求項１に記載の番組選択装置。

【請求項４】 表示手段は、番組放送情報の表示を、現在時刻を含み、かつ、放送時間が最長である番組の時間幅に限定することを特徴とする請求項１に記載の番組選択装置。

【請求項５】 選択手段と放送受信手段は、D2Bを使用して接続することを特徴とする請求項１に記載の番組選択装置。

【請求項６】 再生手段と、表示手段と、選択手段は、CD-Iで構成することを特徴とする請求項１に記載の番組選択装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は放送の番組選択装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、一般家庭においてはTVは複数台数の所有に及び、その使用形態も多様化している。

【0003】 従来、TV番組のチャンネル選択は、操作者が新聞、雑誌等の放送番組表を参照しながら行っている。すなわち、まず、現在時刻から放送番組表の中の現在放映中の番組欄を特定し、次にその中から希望する番組の欄を探す。次に、引続き放送番組表でその番組の放送局を調べ、最後に放送局に対応するチャンネル番号をTVの本体またはリモコン上のボタン等を利用して選択する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら上記の従来の構成では、新聞、雑誌等の放送番組表を参照できない状況において、現在受信中のチャンネル番号は特定できても放映されている番組名を知ることはできない。さらに、この状況で、希望する番組がある場合には、片端からあるいは当てずっぽうにチャンネル選択を行って番組を探し当てるしか方法はなく、コマーシャル放映中には特に番組の特定が困難になる。

【0005】 また、放送番組表を参照する場合においても、細かい文字で記述された膨大な情報の中から必要な

情報を特定する必要があり、その結果、希望する番組を即座に選択することができないという問題点を有していた。

【0006】 本発明は上記従来の問題点を解決するもので、新聞、雑誌等の参照を不要にし、操作者による判断を容易にさせることで番組選択作業の省力化をはかり、操作性を向上する番組選択装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 この目的を達成するために本発明の番組選択装置は、番組放送情報を記録した光ディスクと、前記光ディスクから前記番組放送情報を読み出す再生手段と、前記再生手段からの出力情報を表示する表示手段と、前記表示手段で表示した番組情報から所望する番組を選択する選択手段と、前記選択手段で選択した番組放送を受信する放送受信手段と、で構成される。

【0008】

【作用】 本発明は上記した構成により、光ディスクから読み出した現在放送中の番組名を画面に表示し、希望する番組を画面上でポインティングデバイスによって選択させることによって、自動的にチャンネル番号を入力し、番組の受信を行う。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0010】 図1は本発明の全体構成を示した機能ブロック図である。図1において、再生手段2は光ディスク1を再生し、表示手段3に番組放送情報を出力する。表示手段3は番組情報を表示し、選択手段4は点線矢印で示す操作者からの選択に従った番組のチャンネル番号を放送受信手段5に指示する。放送受信手段5は、選択手段4からの指示に従って番組を受信する。

【0011】 図2は本発明の一実施例の全体構成図である。図2において、13は番組選択を管理するCD-Iプレーヤであり、再生部8、表示部9、選択部10から構成されている。再生部8はCD-Iフォーマットのコンパクトディスク7（以下、CD-Iディスクと略称する。）を再生する。表示部9は再生部8から出力された番組情報をTV画面12に表示する。選択部10はマウス11等のポインティングデバイス入力で指定された番組の番組放送情報から、受信するチャンネル番号を特定し、TV12をD2B（Domestic Digital Bus：IEC規格）バス14を使用して制御する。

【0012】 以上のように構成された本実施例の番組選択装置について、以下、その動作について説明する。まず、CD-Iプレーヤ13の第1の動作は、CD-Iディスクの再生である。図3は再生部8の動作手順を示す図である。対応表17は放送月日15と、その月日の番組放送情報が記録されているCD-Iディスクアドレス

16との対応を示す表であり、CD-Iディスク装着時に、あらかじめCD-Iディスクから読み込まれている。アドレス決定手段19は、現在月日、時刻を管理する時刻管理手段18から現在月日を得、対応表17から現在月日の番組情報が記録されたCD-Iディスクアドレスと1日分のデータの長さを決定する。読み出し手段20は、アドレス決定手段19が決定したCD-Iディスクアドレスから再生を開始し、1日分のデータを読み出し、記憶メモリ21に格納する。

【0013】次に、CD-Iプレーヤ13の第2の動作は、番組放送情報の表示である。図4は表示部9の画面構成図である。表示部9は縦軸を放送時間、横軸をチャネル番号として番組名、番組内容概要、出演者名等の番組内容22を表示する。表示の時間範囲は、現在時刻を含み、かつ、放送時間が最長である番組の時間幅より大きい、30分の倍数時間の幅であり、現在受信中の番組は、枠の太さ、色等で表示方法を変える。

【0014】次に、CD-Iプレーヤ13の第3の動作は、受信番組の選択である。操作者はリモコンやマウス、タッチパネル等を使用して、図4における番組内容22の中から受信を希望する番組の欄を指定する。選択部10は番組放送情報から操作者が指定した番組のチャネル番号を特定し、TV12に指定して受信させる。

【0015】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、表示された番組放送情報の中から希望する番組を指定することによって、番組の選択を行うことができる。これにより、番組表を記載した新聞や雑誌を参照して行う変換作業を無くし、人間による判断を単純にすることができる。この結果、番組選択の省力化を図り、操作を簡略化することができるという効果が得られる。

【0016】また、画面表示の情報を記憶メモリから読み込むことで表示速度を高め、さらに、画面表示を現在

時刻に応じた情報に限定することで人間による判断速度を高めることができる。この結果、希望に応じた番組を迅速に提供することができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例における番組選択装置の全体構成を示した機能ブロック図

【図2】同実施例における番組選択装置の全体構成を示すブロック図

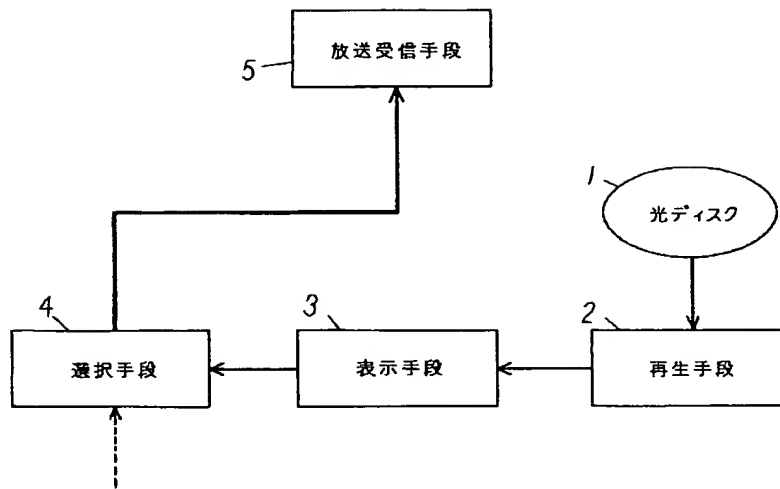
【図3】同実施例における再生部の構成を示す機能ブロック図

【図4】同実施例における表示部の画面構成を示す模式図

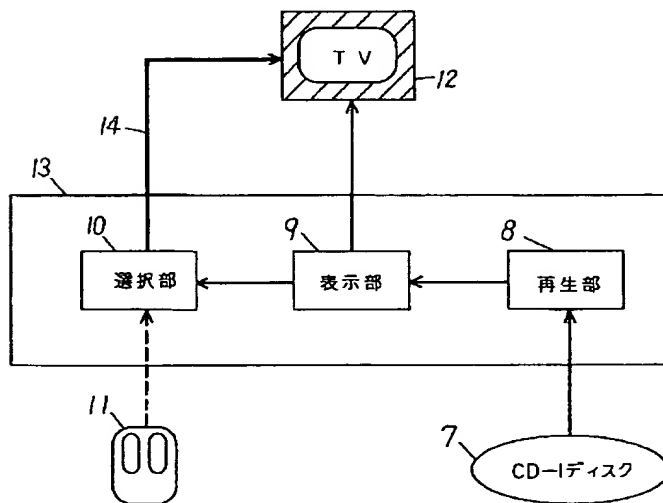
【符号の説明】

- 1 光ディスク
- 2 再生手段
- 3 表示手段
- 4 選択手段
- 5 放送受信手段
- 7 CD-Iディスク
- 8 再生部
- 9 表示部
- 10 選択部
- 11 マウス
- 12 TV
- 13 CD-Iプレーヤ
- 14 D2Bバス
- 16 番組放送情報の記録アドレス
- 17 対応表
- 18 時刻管理手段
- 19 アドレス決定手段
- 20 読み出し手段
- 21 記憶メモリ

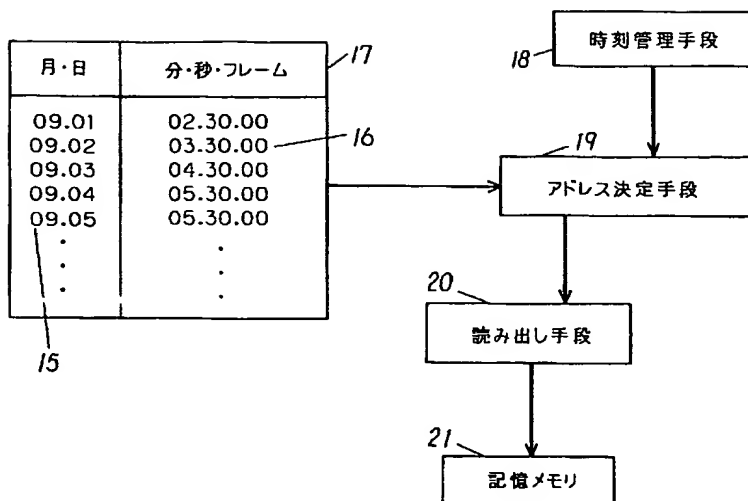
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

